

2 安全対策への市の基本的な考え方

(1) 基本的な考え方

これまで1300回を超える米海軍の原子力艦船の日本への寄港実績の中で、人体や環境に影響があるような事故は起きていません。これは、米海軍がしっかりと安全対策に取り組んでいるためと考えており、今後も人体や環境に影響があるような事故は発生しないと考えています。

その上で、市は市民生活の安全安心確保のため、万が一に備えて安全対策に取り組んでいるところです。

(2) 有効な安全対策は

事故の発生を未然に防ぐために最も有効な安全対策は、小さなトラブルや予兆を見逃さずに、しっかりと対処していくことと考えています。

そのためには、トラブルや予兆の段階でその事態を明らかにして、しっかりと対処し、改善すべき点は改善し、対処能力を高めるという取り組みを繰り返していくことが重要と考えています。

市は、この考えに基づき、昨年から米海軍や国との協議を通じて、市民生活の安全安心確保のため、次のような取り組みを行ってきました。



安全安心確保のための取り組み

- 在日米海軍との防災協定の締結
- 米海軍や国も参加する防災訓練の実施
- 放射線監視体制の強化
- 基地内従業員への安全対策